

- 問1 戦国大名の武田信玄が制定した「甲州法度之次第」のように、当時の有力な大名たちが独自の法律を定めた主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|---|------------------------------------|
| 1. 室町幕府の命令を全国の農民に知らせ、将軍の権威を強めるため | 2. キリスト教の布教を制限し、外国との貿易を大名が独占するため | 3. 家臣同士の争いを抑え、民衆を含めた領民全体を統制して領国を安定させるため | 4. 朝廷から与えられた官位の順序に従って、家臣の序列を整理するため |
|----------------------------------|----------------------------------|---|------------------------------------|
- 問2 戦国時代において、武田氏や今川氏などの戦国大名が、自らの領国内を統治し、家臣や民衆を直接支配するために独自に制定した法律を何というか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|----------|----------|
| 1. 公家諸法度 | 2. 分国法 | 3. 御成敗式目 | 4. 武家諸法度 |
|----------|--------|----------|----------|
- 問3 戦国大名の朝倉氏が、拠点である一乗谷において、それまで各領地にいた有力な家臣をすべて城下町に移住させた目的として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 家臣に領地の経営を完全に任せることで、大名が外交や文化活動に専念するため | 2. 家臣を農村から切り離して監視下に置き、大名の支配力と軍事動員力を高めるため | 3. 家臣を海外貿易の拠点に近い沿岸部に集め、輸入品を独占的に管理させるため | 4. 家臣に独自の関所を設置させることで、商工業者から税を徴収しやすくするため |
|---|--|--|---|
- 問4 戦国時代に各地を支配した戦国大名の多くは、「下剋上」という風潮の中で台頭しました。この時代における「下剋上」の説明として、当時の社会状況をふまえた最も適切なものはどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 下の者が実力で上の者に打ち勝って地位を奪い、新たな領主として領国支配を広げていった。 | 2. 農民たちが宗教的な団結を強めることで、武士の支配を実力で排除して自治を行った。 | 3. 幕府から任命された守護が、自らの実力を高めて隣国を吸収し、支配権を世襲していった。 | 4. 朝廷の権威を背景とした下級武士が、実力行使によって幕府の政治を批判し、地位を向上させた。 |
|---|--|--|---|
- 問5 島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の良質な銀を生産したことで知られ、2007年にはその歴史的価値が認められて世界文化遺産に登録された鉱山を選んでください。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足尾銅山 | 2. 石見銀山 | 3. 佐渡金山 | 4. 生野銀山 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 「朝倉孝景条々」や「甲州法度次第」といった分国法の中に見られる、戦国大名による統治の具体的な特徴として正しいものを一つ選びなさい。 (2023年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--------------------------------------|
| 1. キリスト教を保護し、ヨーロッパとの自由貿易を領国内の全ての商人に奨励した | 2. 将軍の許可なく大名同士が婚姻を結ぶことを禁じ、参勤交代の義務を明文化した | 3. 家柄に関わらず有能な人材を登用するルールや、許可なく城を構えることを禁止する規定を設けた | 4. すべての土地と人民は天皇に帰属するという公地公民の原則を再確認した |
|---|---|---|--------------------------------------|
- 問7 戦国時代、九州の種子島に伝来した武器をきっかけとして始まった南蛮貿易について、当時の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|------------------------------------|
| 1. 幕府の許可を得た朱印船により、東南アジア諸国との間で盛んに行われた。 | 2. 銀や銅を輸出する代わりに、欧米から蒸気機関などの近代技術が導入された。 | 3. キリスト教の布教は厳しく制限され、貿易の窓口は長崎の出島に限定された。 | 4. キリスト教の布教を伴い、鉄砲や火薬などの軍事物資が輸入された。 |
|---------------------------------------|--|--|------------------------------------|
- 問8 鉄砲の伝来がその後の日本の戦い方や社会に与えた影響として、最も適切な説明を選びなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 外国との交易が危険視されたため、すぐに鉄砲の使用や製造が全面的に禁止された。 | 2. 鉄砲の製造が困難であったため、一部の特権階級のみが儀礼用として保持した。 | 3. 武士個人の技術がより重視されるようになり、刀や弓矢による一騎打ちが増加した。 | 4. 集団戦法が主流となり、強力な火力から守るための堅固な城が築かれるようになった。 |
|---|---|---|--|
- 問9 14世紀から15世紀にかけて、室町幕府の支配力が次第に弱まり、幕府の権威が失墜していきました。このような社会情勢の中で、下の者が実力で上の者を倒して地位を奪う風潮が広まりましたが、この風潮を何と呼びますか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 下剋上 | 2. 門閥政治 | 3. 大政奉還 | 4. 尊王攘夷 |
|--------|---------|---------|---------|
- 問10 戦国時代、各地の有力な戦国大名が自らの領国内の秩序を維持し、家臣や領民を統制するために独自に制定した法律を何といいますか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|--------|------------|-----------|
| 1. 公事方御定書 | 2. 分国法 | 3. 墾田永年私財法 | 4. 永仁の徳政令 |
|-----------|--------|------------|-----------|
- 問11 戦国時代において、各地の戦国大名が自らの領国（分国）内の武士や民衆を統制し、領国内の秩序を維持するために独自に制定した法律を何といいますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-----------|--------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 武家諸法度 | 3. 公事方御定書 | 4. 分国法 |
|----------|----------|-----------|--------|
- 問12 戦国大名は軍事力だけでなく、経済力を高めるために石見銀山などの鉱山開発を進め、石州銀と呼ばれる銀貨を流通させるなど、領国の経営に力を入れました。このような大名たちが、領国内の家臣の統制や紛争解決、土地の支配を目的として制定した「分国法」の性格について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|--|---|
| 1. 各戦国大名が、自分の領国の実情に合わせて独自に制定した法律である。 | 2. 村々が自衛のために組織した「惣」において、農民たちが話し合って決めた決まりである。 | 3. 朝廷が定めた律令を補い、貴族の土地所有権を保護するために制定された法律である。 | 4. 幕府が全国の武士に対して一律に守らせるために制定した、全国共通の法律である。 |
|--------------------------------------|--|--|---|
- 問13 1543年に種子島へ伝来した鉄砲が、戦国時代の日本において急速に普及し、合戦のあり方を大きく変えた主な要因として正しいものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|-----------------------------------|
| 1. 堺や国友などの都市の職人が高い技術を用いて、鉄砲の国内生産を可能にしたため | 2. ポルトガル人から輸入するのみで、国内の需要をすべてまかなうことができたため | 3. キリスト教の布教を許可した大名に対してのみ、スペインが鉄砲を贈呈したため | 4. 室町幕府が鉄砲の製造を独占し、全国の名主に無償で配布したため |
|--|--|---|-----------------------------------|